

# 栃の木からの手紙

2022年 水無月 6月号

2022年

有機 JAS 畑  
面積 209a

作区: 20220528

6日: 芒種

14日: 満月 旧 5月 16日

21日: 夏至

23日: 沖縄慰霊の日

29日: 新月 旧 6月 1日

休閑緑肥 緩衝地帯 ひまわり 4本 5a	休閑緑肥 22a						休閑 緑肥 (22a)
	シャドー・クイーン	とうや	ノーザン・ルビー	きたあかり	さやあかね	赤ピーツ	
	16本 24a	32本 47a	20本 30a	16本 24a	24本 35a	16本 22a	

カッコウ→ 5/26  
エゾ春蟬→ 5/18

5月10日 逆回転のロータリーを掛ける

5月10日 シャドークイーン とうや播種

5月11日 ノーザンルビー きたあかり  
さやあかね播種

5月23・24・25日 早期培土 (本培土1回目)

6月14・15日 2回目本培土

6月22・23日 3回目本培土



芋の連作を続けている自然農法の畑。20年余りこの場所に在るが、環境は年々変わってきている事に気付く。

まず自然環境の変化。芋の播種の目安としていたカッコウの初鳴き日が1週間から10日程遅くなってきている。

逆に、エゾ春蟬の初鳴きは、10日前後早まってきている。

気候は高温早魃傾向に成って来ている。近年気に掛け始めたのは李の木。毎年林の中に白い花を咲かせる木がある事は知っていたが、考えてみると自然農法の芋を播いている時には李の花が咲いていた。今年は、李の開花に急かされる様に芋の播種をした。しかも2人の作業を1人にした。播種機に人は乗りません。僅かな芋の欠株は気にしない事にしました。

今年は、除草目的で本培土を3回行っていきます。2回目の後に手取り除草を入れましたが芋の状況を見て3回目の本培土を実施しました。